

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

# 日立半導体技術情報

〒100-0004  
 東京都千代田区大手町2丁目6番2号  
 (日本ビル)  
 TEL (03)5201-5022 (ダイヤルイン)  
 株式会社 日立製作所 半導体グループ

製品分類	開発環境		発行番号	TN-OS*-061A	Rev.	第1版
題名	HI7000/4 周期ハンドラおよび ref_alm に関する不具合		情報分類	1. 仕様変更 2. ドキュメント訂正追加等 ③. 使用上の注意事項 4. マスク変更 5. ライン変更		
適用製品	HS0700ITI41SRE, HS0700ITI41SRB, HS0700ITI41SRS, HS0700ITI41SRE-E, HS0700ITI41SRB-E, HS0700ITI41SRS-E	対象ロット等  V1.0Cr1	関連資料	HI7000/4 シリーズユーザズマニュアル ADJ-702-298A 第2版		有効期限  永年

拝啓、貴社益々御清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別の御高配を賜り、感謝申し上げます。

このたび、HI7000/4 に以下の不具合があることが分かりましたのでご連絡いたします。  
 対策版は、2002年11月末までにリリース予定です。対策版リリース時には、改めてご連絡いたします。

1. SH-1 使用時、周期ハンドラの実行終了時にカーネル内部で未定義命令例外が発生する。

1.1 発生条件

- (1) 使用マイコン：SH-1(SH7020 シリーズ, SH7030 シリーズ)
- (2) 周期ハンドラ機能を使用している。

1.2 回避策

周期的な処理を行いたい場合には、アラームハンドラで代用できないかご検討をお願いします。例えば、アラームハンドラから、自分自身に対して ista\_alm を行うことで、周期的にアラームハンドラを起動することができます。

2. ref\_alm, iref\_alm で返却される lefttim(アラームハンドラ起動までの残り時間)が不正となる場合がある。

2.1 発生条件

- (1) アラームハンドラを6個以上使用している。
- (2) ref\_alm, iref\_alm 発行時点で、対象のアラームハンドラより起動時刻が早いアラームハンドラが5個以上存在する。

2.2 回避策

アラームハンドラを6個以上使用する場合は、ref\_alm, iref\_alm で返される lefttim を使用しないでください。  
 ref\_alm, iref\_alm で返される lefttim を使用する場合は、アラームハンドラを5個以下にしてください。

2.3 備考

アラームハンドラの実行は、正常に行われます。

以上